

第1回 飯山市旧4小学校利活用ビジョン検討市民会議

令和8年（2026年）2月24日 開催 13：45 ～ 15：45

議事録概要版

会議概要

今回の会議では、閉校となった4つの旧小学校の利活用について、地域資源を活かし飯山市をさらに活性化するためのさまざまなアイデアが話し合われました。議論はこれまでに市に寄せられた市民からの具体的な提案から始まり、市からの現状説明や市の方向性の共有も行われました。自然環境や交通の利便性を活かしながら、住民と訪問者双方に寄与するアイデアが示され、次回以降の議論へ繋がる具体的な方向性が形成されました。

【会議の開始と背景】

旧4小学校利活用ビジョン検討市民会議では、市の貴重な資産である空き校舎をどのように地域活性化に活かすべきか議論しました。市からは、まずは委員個々のアイデアや構想を積極的に提案して共有してほしいとの方向性が示されました。

【自己紹介と多様な視点】

最初に委員の自己紹介が行われ、多様な背景をもつ市民が集まっていることが明らかになりました。地元で生まれ育った方、移住者、市民団体の関係者、商業活動に携わる方など、地域を深く知るメンバーが顔を揃えました。それぞれの視点から飯山市特有の課題や可能性を指摘し、議論に向けた前向きな意識が共有されました。

【議長と副議長の決定】

委員長には田中克徳氏が、副委員長には工藤千麻琴氏が指名されました。

【地域資源の活用アイデア】

委員からはさまざまなアイデアが示されました。例えば子どもの遊び場や室内施設を改修して提供したり宿泊施設を設けることで観光と地域活性化を結びつける案が挙げ

りました。また、旧4小学校の活用方法として、スポーツジムの設置、ボランティア活動拠点の整備、地域の文化を発信する場所の提供などの提案がありました。

【市からの現状説明】

市からは校舎の利活用に向けた現行の取り組みや、公募の際の基本条件について説明がありました。市外企業誘致の可能性についても言及され、具体的な活用案として宿泊施設や地域振興機能を持つ拠点などの案が示されました。

【人口減少への対応】

人口減少による課題も議論されました。閉校に至った背景として、子どもの数が減少している現状があるため、地域全体で取り組むべき課題として「人を呼び込む仕組み作り」について議論されました。

【教育施設としての利用可能性】

議論を通じて、施設の一部を教育関連活動や集会場として利用する可能性も示されました。特に地元スポーツの発展や文化交流といった視点から、若年層の教育環境を育む場として活用するというアイデアが支持を得ました。

【行政運営への期待と課題】

委員からは、行政が中心となり施設の管理運営を担うことへの期待が表明される一方、安定した収益性確保の難しさについて懸念も示されました。

【次回までの宿題】

会議の最後に、飯山の魅力を再確認するために、自然環境や交通の利便性といった強みを明確化し、アイデアの更なるブラッシュアップを図るよう委員で共有しました。次回の会議までに個々のアイデアを整理し、より具体的な活用案を提示することとなりました。(各委員へ提案シート等を送付します。)

【現地確認と今後の議論】

事務局から次回日程と合わせて、旧4小学校の校舎等地の現地見学の日程の説明がありました。